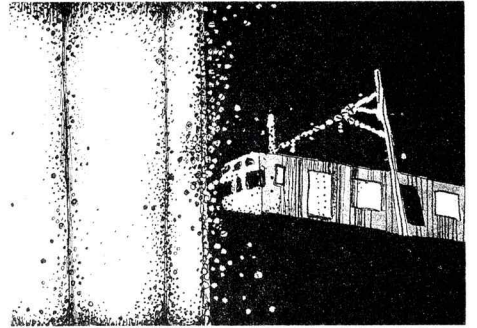


朝日 俳壇



〈電車、前進V〉 岩尾恵都子

高野公彦選

善玉と悪玉の比率散歩してよくなればよし
 さも五千歩 (多摩市) 柳田 主馬
 井戸掘の政治家いなくなった今豪邸の建つ政
 治屋ばかり (小浜市) 津田 甫子
 手のひらに骨の形が残るほど夜中にさする蠟
 蚊の方が注射はうまいと微笑みて病を耐えし
 父は逝きたり (倉吉市) 砂原 誠子
 開くたび未来の遺影に見つめる絶滅まじかの
 の動物フォト集 (札幌市) 田巻 成男
 被曝牛を飼いつける人の五千日、野太き声が
 今日も地を這う (福島市) 美原 凍子
 ニューヨークの蕎麦屋に寄ってザル吸り青き
 瞳と音出し競う (アメリカ) 大竹 博
 ☆文具店三軒目にて二百字の原稿用紙に辿り着
 きたり (中津市) 瀬口 美子
 年取るの見知らぬ我がしやしり出て恥かく
 ことが多くなりけり (三郷市) 木村 義熙
 膝痛に堪え兼ね探す物置に捨てずありし山
 用の杖 (宝塚市) 寺本 節子

【評】一首目、コレステロールの善玉と悪玉の比率を考えつつ楽しむ散歩。二首目、私財を擲って政界に乗り出し、気が付けば井戸と掘しか残っていないような立派な政治家がいなくなったことを嘆く。三首目、介護の仕事をリアルにえがく。

永田和宏選

☆検査まで必ず二回蓋叩き瓶ビール飲みき昭和
 の父は (観音寺市) 篠原 俊則
 一時間紀伊國屋前で待っていた携帯など無き
 半世紀前 (高岡市) 梶 正明
 もし彼が打てなくなつたら熱烈なファンにも
 ならむ大谷翔平 (土岐市) 高柳恵美子
 法隆寺金堂壁面の阿弥陀仏に少し似ている大
 坂なおみ (五所川原市) 戸沢大二郎
 礎には百八十と一名を新たに刻みし今日慰霊
 の日 (神奈川県) 高橋 静一
 右左どちらにも聞く冷蔵庫こんなふうには生
 きてはいけぬ (茨木市) 瀬川 幸子
 少しだけ欠けているのがとても綺麗月も君も
 そして私も (福岡県) 中村 未央
 一晩中アイドリングでいたような何もなかつ
 た当直の朝 (京都府) 片山 正寛
 病床で母が手にした「蟬声」を初めて開く七
 度目の夏 (和歌山市) 岡田 信也
 こんなことしていいのか私いま今日の教独
 まだ終わらない (白岡市) 嶋津フサ子

【評】一、二首、共に昭和の懐かしい風景。確かにビールの蓋を二回叩いていた。三、四首、スランプになったら大谷ファンにどう気持ちはわかるし、言われてみれば大坂なおみは阿弥陀に似ているかも。十首目、全く同感。教独の魔は怖い。

馬場あき子選

千歳へて今なほどしどしど百編の学術論文書か
 す源氏は (東京都) 斑山 羊
 ☆ロボットは何も言わずに配膳し客も黙って膳
 を受け取る (千葉市) 鈴木 一成
 心配が先立つからと娘は吾に安定期まで妊娠
 言はず (三鷹市) 宮野隆一郎
 ヘーゲルの国で生れしきくらんぼ日本で昇華
 し佐藤錦に (東根市) 庄司 天明
 米軍の上陸翌日叔父戦死詭谷村の喜名という
 地で (船橋市) 佐々木美彌子
 慰霊の日九十二歳が礎にて強く発する「戦争
 はやだ」 (長野市) 称津 信子
 朝いつもベンチに寝ねしホームレス今日は見
 かけずハト睦み合う (茨木市) 大原みやこ
 ☆文具店三軒目にて二百字の原稿用紙に辿り着
 きたり (中津市) 瀬口 美子
 青鷲が子供に「ツル！」と呼ばれて細い冠羽
 を静かに降ろす (枚方市) 久保 哲也
 友達がかいてるマンガ『チンアナゴ99世』い
 つか読みたい (奈良市) 山添 聡介

【評】第一首、たしかに源氏物語研究の分野は今日なお盛んである。下旬にあるとおりその魅力が書かせる力をもっているのだ。百編は斑山の意味。第二首のロボットの配膳を受ける客はいかにも味気なげだ。第三首の心遣い、成程と納得。

佐佐木幸綱選

生涯の友になりそうな予感する初対面なのに
 懐かしい人 (酒田市) 富田 光子
 ☆検査まで必ず二回蓋叩き瓶ビール飲みき昭和
 の父は (観音寺市) 篠原 俊則
 尺を越す岩魚釣上げ手に取れば古武士のよ
 うな面構えなり (山形市) 佐藤 清光
 「ウチに来て、あなたの家にはもう行けない」
 二分の距離を病む友の言う(宝塚市)今井 洋子
 赤児抱いた目礼の母乗つてきてエレベーター
 に寝息が満ちる (甲府市) 村田 一広
 ☆ロボットは何も言わずに配膳し客も黙って膳
 を受け取る (千葉市) 鈴木 一成
 美しい角持つ鹿が「麗」の字と教え給いし恩
 師旅立つ (五所川原市) 戸沢大二郎
 大雨が染み込んだ靴四足陽を受け並ぶ朝の玄
 関 (八尾市) 西口 初栄
 野うさぎの赤ちゃんが二羽いるのだと長靴鳴
 らして妹が来る (松阪市) こやまはつみ
 星を見て風の音聞く山小屋でひとり酒飲み眠
 る賢沢 (三郷市) 木村 義熙

【評】第一首、人と人の出会いの不思議、そして予感の不思議。第二首、そういえば最近、瓶ビールの蓋を叩く人を見なくなった。第三首、下旬、岩魚を表現して独特。第四首、歩けなくなった友達。直接語法を採用して思いのこもった一首にしあげた。

短歌時評 社会的かつ文学的な

小島 なお

社会的であること、文学的であること。現代短歌では両輪の力が求められている。社会的テーマを詠うことは、時代の実感や苦しみにも光を当てるといっ点において意義がある。けれど、社会的であることと文学的であることは本来分けて考えなければいけない。

「君を救ひにする物語全部嫌 西陽 睦月都 テラリウムへ満ちてくる」
 富める人ならざるわれらお互ひの腫物
 を目守りつつ触れざりき
 濱松哲朗「翅ある人の音楽」
 しのびがたきをしのんで僕のこんにち
 はこんなに遅く出てくる子供
 土井礼一郎「義弟全史」
 一首目は、異性愛を前提とする愚苦し
 いこの世界を、テラリウムの美しい箱庭
 に喩えたアイロニーである。二首目の
 「富める人」は、新約聖書ルカ伝のたと
 え話を下敷きにして、ひやりひやりが

「ならざる」者となり、連帯すらできな
 い時代の閉塞感を示唆する。三首目では、玉音放送に突如として「僕」の声か
 割り込む。戦争を知る世代がいなくな
 り、空想の戦前を生きた私たちはまるで
 遅くに生まれてくる子供のようなだとも
 社会的であるという点のみで短歌は評
 価されるべきではない。社会的なテーマ
 を、比喻によって描写によって韻律によ
 って文体によって文学に昇華してはじめて
 優れた作品と言える。人々の生き方が
 多様化し、テーマ偏重の傾向が高まって
 ゆくなか、短歌が文学であるという初
 心にくりかえし立ち返りたい。(歌人)

第44回現代俳句評論賞 現代俳句協会主
 催。東京都在住で「炎環」同人の田辺みのる
 さん(60)の『萩の季語「蟬」一加藤萩の
 「生や死や有や無や蟬が満す」の句を中心
 とした考察』に決まった。
 宮坂静生編著「俳句表現 作者と風土・地
 貌を楽しむ」俳句は底流に風土との関わり
 があるとの自説を詳述。(平凡社・2970円)

☆は共選作。入選作はデジタル版にも掲載・収録し、
 記事やSNSで引用することがあります。投稿は未発表の
 自作のみ、二重投稿不可。選者が添削する場合があります。
 郵便での投稿は無地のはがき1枚に1句、横に住所、
 氏名、電話番号を明記。〒104-8661 晴海
 郵便局私書箱300、短歌は「朝日歌壇」、俳句は
 「朝日俳壇」へ。歌壇はネットでも投稿できま
 す(週に2首まで)。QRコードから。